

しみずの教育 ちよっといひ話

【平成29年4月号】

清水小学校

校長 山下 勇

「継続→充実↗向上」を学校経営のキーワードに

新たに6名の教職員が加わり、「チーム清水小学校」がスタートしました。全校児童307名のために、よりよい教育環境づくりに努めていきます。

今年度も“笑顔”を大切に、「生き生きと瞳を輝かせて学び、活動する子ども」（知）「相手のことを思いやる優しさ」と正しい言葉で話す子ども」（情）「最後までやりぬく忍耐力と行動力のある子ども」（意）「立腰を身に付け、遊びや運動で汗を流す子ども」（健）「きまわりを守り、協力し合って活動する子ども」（社）の育成をめざして学校経営を推進していきます。

今年度は、『上』（教職員としての資質・能力を向上させること、授業力や指導力を上達させること、上質な教育を行うこと、子どもの「生きる力」を一つ上へ高めること）をキーワードに、生き生きと活動する子どもの笑顔が輝き、優しさと思いやりの花が咲く学校づくりに邁進していきたいと思っております。そのために、日常的な研鑽を積み重ねるとともに、教職員相互のコミュニケーションを通して共通理解を図り、協働体制で「清水小学校ならではの教育活動」の継続→充実→向上させる学校・学年・学級経営に努めていきたいと思っております。

保護者や関係機関・団体、地域の皆様には、本校の力強い応援団として一層のご理解・ご協力・ご支援をいただきますようお願いいたします。

一生懸命に取り組む6年生の姿に、

学校のリーダーとしての意識と自覚が・・・

4月7日（金）、学校のリーダーとなる6年生が新学期及び入学式の準備のために登校してくれました。各教室の準備や1年生教室の飾り付け、会場の準備等を一生懸命に手伝ってくれました。ものを運んだり、飾り付けをしたり、掃除をしたりするなど、意欲的にてきぱきと活動する子どもたちの姿から、最高学年・学校のリーダーになるという意識と自覚を持っていることや、自ら行動しようとするやる気が伝わってきました。6年生の子どもたちがとても頼もしく見えましたし、輝いていました。6年生には、今年の清水小学校の「顔」として、自分たちのよさや特性を十分に発揮し、よき伝統を引き継ぎ、さらに高めてくれること

を期待したいと思います。



1年生のために、教室の飾り付けや準備等を手伝いました。

御影小学校

校長 真下 正 則

新1年生20名のご入学 おめでとう！

4月10日(月)に20名の新1年生を迎え、ご来賓・保護者の皆様のご臨席をいただき、全校児童・職員とともに心温まる入学式を行いました。式辞の後、阿部清水町長様、石丸PTA会長様、そして、土橋児童会長さんからもお祝いの言葉がありました。1年生の皆さんは、緊張しつつも大変立派な態度でお話を聞くことができていました。

翌朝からは早速6年生のお世話のもと、御影小学校での生活が始まります。朝は元気に「おはよう」の挨拶ができ、そして授業中はしっかり先生のお話を聞き、大きく成長してくれることを期待しています。

ご進級 おめでとう！136名でスタート

2～6年生も進級した喜びと新たな抱負を胸に新学期を迎えました。全校生136名、職員21名で開校101年目の教育活動がスタートしました。保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、指導の充実を図って参りたいと考えております。

さて、子どもたちの元気な声も学校に響き、活気もどりました。そして、新6年生をリーダーに新しい目標に向かって生き生きと活動をスタートさせました。子どもたち一人一人の良さをさらに伸ばしていきたいと願っております。

今年度も、地域の良さを生かした「地域に根差した信頼される学校づくり」を展開し、基礎学力の定着と健やかでたくましい心身の育成と、人とのかかわりを通して知恵や技を学ぶことを重点に、「自立して生きていける子ども」を育て、その変容を子ども・保護者・教職員が実感できることをめざしていきます。



6年生が入学準備のお手伝い

教育は学校だけでは効果があがりません。家庭・地域・学校がそれぞれの教育（共育・協育）力を十分発揮し、さらに相互補完することが大切です。今年一年間学校でできることは、力いっぱい努力いたします。子どもたちの健やかな成長のために、保護者・地域の皆様と共に手を携えて歩んでまいりたいと考えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

清水中学校

昨年 10 月 31 日（月）のブログで紹介した「オランダ北海道人会」さんからいただいたチューリップの球根。初雪が降った頃に、生徒たちが学校の花壇に植えてくれました。5 種類 60 球ほどの球根でしたが、それが今、しっかりと芽を出して、中には、背丈は伸びないままつぼみを付けたものもあります。めずらしい種類のチューリップだそうですが、どんな花が咲くのでしょうか。花が咲いたらまたブログでお知らせしますので、保護者・地域の皆さんもぜひ、足を運んでください。



校長 宝 輪 博 継



オランダ北海道人会：オランダに住む北海道出身者の集まり。現在会員は 25 名ほどで 1999 年からふるさとの学校にチューリップの球根を送る活動をしている。

椅子あり集会（教室から椅子を持参して行う集会）の退場時。「〇〇委員会の皆さんはちょっと集合してください」などと声がかかると、委員会の生徒たちは列に椅子を置いたままその場を離れ集合します。その時、清水中の生徒たちは当然のように、残された椅子に自分の椅子を重ねて教室へ運んでくれます。中には3つ目の椅子を持とうとする生徒がいて、他の生徒が気付いて分け持ってくれたりしています。とてもすてきな光景です。「委員会の用が終わったら、自分で椅子を持って戻ればいい」という発想はありません。「委員会の仕事があるんだから、椅子は運んでおいてあげよう」という心遣いがあるだけです。すてきな習慣だと思います。



清水中の生徒たちの身の回りの整理整頓は、いろいろな機会におほめいただいているところです。生徒玄関の靴箱、教室のロッカー、体育授業時の脱いだジャージ・・・等々。

自転車通学がはじまりました。以前、芦沢写真館さんが撮ってくださった、自転車置き場

に整然と自転車が並び美しい写真があって、以来、時々自転車置き場の写真を撮っています。

もちろん、自転車を固定する器具があるから、整然と並ぶのですが、美しく見えるためには、そこに「きちんと」固定しなければなりません。この「きちんと」ができるということが、いろいろな生活習慣につながっていきます。そしてこれをしっかりと躡けていくことは、学校ばかりでなく、家庭や大人の役割です。



御影中学校

「凡事徹底」に努める

校長 寺島 康博

4月10日(月)に5名の新しい先生方を迎え、清水町立御影中学校の平成29年度がスタートしました。入学式の式辞の中で「凡事徹底」を新入生にお話しました。これは、「当たり前のことを一生懸命にやる。」ということです。

その例として、大リーグマリナーズのイチロー選手が高校時代の3年間、1日にたった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしたという実話を紹介しました。

1日なら誰にでもできることを徹底して毎日やり続けるというのが、イチロー選手の非凡さの現れなのです。地道な練習の繰り返しが、世界でも一流の選手を生んだのです。まさに、「継続は力なり」です。野球選手にとって素振りは基本中の基本ですが、たかが10分と言われることを1年365日やり続ける選手はほとんどいないでしょう。



さて、私たちにとって「凡事」とは何なのでしょう？「大きな声で挨拶をする」「整理整頓し、毎日掃除を行う」「時間や約束を守る」など、我々の身近に「当たり前」とされることはたくさんあります。これを丁寧に一生懸命やれば、必ず周りの人から認められ信頼される人間に成長できるでしょう。生徒のみならず、我々教職員も本年度は「凡事徹底」に努

めたいと思います。また、「子どもは家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」ということを今年度も大切にしたいと思っています。家庭・学校・地域が連携協力し、「御影の宝」である子どもたちを立派に育てていく覚悟です。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い致します。

3年生「進級おめでとう」

いよいよ3年生、最終学年としての生活が始まりました。この1年のテーマは、みんな一人一人が進路の目標を見付け、希望の進路に進むことです。生活の全ての場面が“合格”というゴールにつながっているのですから気が抜けません。

また、最上級生として御影中学校の中心になります。部活動や各行事などでよいお手本として下級生を引っ張り、自分たちにとっても楽しい思い出になるよう頑張ることも必要です。

この1年間は長いようで短い。そして、短いようで長いのです。楽しいことだけでなくみんなにとって苦しく、ときには逃げ出したくなるようなこともあると思います。だからこそお互い支え合い、励まし合うチームワークが大切になります。学級で団結して、楽しく温かい雰囲気の中で自分の力を最大限に発揮して下さい。3月の卒業式には全員が充実した1年だったと笑顔で臨めるよう、この1年間を過ごして下さい。



清水高等学校

はじめまして！よろしくお願いします！

校長 平野道雄

4月1日付けで校長、教頭、事務長が替わりました。

校長は平野道雄といいます。美幌町出身。前任は苫小牧工業高等専門学校教授です。教頭は早坂頼吾といいます。札幌市出身。前任はえりも町立えりも高等学校教頭です。事務長は相場昌子といいます。小樽市出身。前任は札幌視覚支援学校事務主任です。管理職としての経験は不足していますが、3人とも道立高校以外の学校での勤務があることを強みに、幅広い視点から学校を支えていこうと考えています。まずは生徒や学校、地域をよく知ることからはじめます。

また、管理職3名を含め8名の教職員が替わり、大きく若返ったことも強みです。フレッシュなメンバーを加えた清水高校教職員、一丸となった新たな気持ちでスタートします。よろしくお願いします。

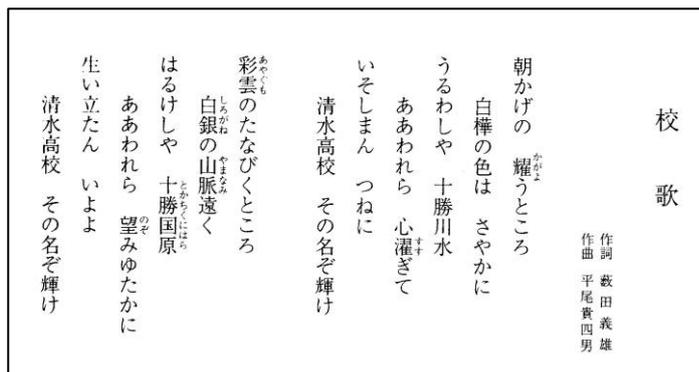
4月8日（土）、入学式を行いました。この日に入学式を実施した道立高校十数校のうち、午前中に実施した学校は本校の他には1校のようです。全道でもっとも早く1年生が入学した道立高校といえます。また、昨年と同様、土曜日の開催となり、阿部町長をはじめたくさんのご来賓と保護者の皆様のご臨席を賜りました。今回の入学生135名は、清水町から30

名、新得町から 12 名、芽室町から 29 名、帯広市から 52 名と昨年度とほぼ同じ割合です。

式の中で新入生を代表して、清水中学校出身の澤田綺来莉さんが、本校校訓「自律、探究、創造」のもと、今後の抱負と決意を立派に述べてくれました。また、演劇部、美術部、茶道部、書道部、吹奏楽部、生徒会で構成された合唱隊により校歌が披露されました。この校歌は、昭和 25 年 3 月 3 日に校旗入魂式とともに披露式が行われたとのこと。十勝の大自然に抱かれ大きな志を立てる歌詞と、今でも新しさを感じるメロディー、1 年生と一緒に早く覚えたいと思いました。



↑ 4 月 8 日の入学式、新入生宣誓の様子



↑ 本校校歌の歌詞

4 月 11 日（火）、1～3 年生が初めて顔をそろえ、対面式が行われました。町内外から集まった 1 年生は、峠の麓の町であるここ清水町で 3 年間の高校生活を送ります。不安もあるとは思いますが、「人と物が山を挟んで交流するこうした風土で生活する人たちは、峠を越えてきた人を温かく迎えて癒やし、これから峠を越えようとする人たちを元気づけ励ます、優しさに満ちているので、安心して全力で頑張ってもらいたい」と私から話をしました。

その後の部活動紹介では、生徒会執行部作成・編集のムービーの上映やパフォーマンスに始まり、各部が実演やユーモアを交えながら紹介をしていました。ともすれば、雑然としたり、度を越したりしがちな対面式ですが、1 年生はもちろん、2・3 年生も落ち着いた雰囲気の中で進められていることに驚きました。平成 28 年度の部活動加入率は 4 月 25 日段階で 62.7%、今年度、部活動の加入者が増えてくれることを期待しています。

清水幼稚園

園長 福原幸江

第 40 回入園、進級式…

4 月 11 日（火）、天候に恵まれたなか第 40 回清水幼稚園入園式を行いました。

18 名の年少と 2 名の年中・長児の 20 名が新入園児として保護者に手を引かれ、緊張と不安の中での入場でした。子供たちにとって、初めての行事体験でしたが、式の最後まで椅子に座って良くがんばりました。

また、さくら組とばら組に進級した在園児のお話を聞く姿勢と態度は、本当に立派でした。今年度初めての登園にもかかわらず、話をする人の顔を見て、集中して聞き、あいさつや返事も大きな声で出来ました。これから、子供たちとの園生活が本当に楽しみです。

今年度は、幼稚園園則(3歳児原則15名1クラス)にのっとり2クラス編成にしました。幼稚園に慣れるのを見計らい2クラス合同での園庭遊びや散歩などで年中児クラスへの進級を意識して交流し、子どもたち同士の交流を深めていきたいと考えています。また、3学期には、徐々に1クラス編成を経験させながら進級させたいと思っています。



よつばちゃん・みみちゃん…餌を持ってきてくれます

春休み中に、小学校入学に向け通学練習をする卒園児が、ランドセルを見せに来てくれました。本園を卒園したお兄さん、お姉さんが一緒にいる時もあります。そうしたときに必ず寄るのがウサギ小屋です。手には、“よつば”と“みみ”の大好きなニンジンやブロッコリーの芯なども持ってきてくれます。まだまだ緑の葉っぱをあげられない時期が続きますが、子どもたちのおかげで二羽はとっても元気です。毛がわりも順調に進んでいます！！

せっかく来た幼稚園では、園庭で思いっきり遊びたいようですが、遊具の点検をまだ行っていないため、開放することができず、とても残念な顔で帰っていきます。



教育委員会

町内の子どもたちの姿をご覧ください

清水町は、「心響」を教育理念とし、しみず「教育の四季」を実践指標として、心を通わせ、互いに響き合う感性豊かな教育を推進しています。

「ちょっといい話」は、開かれた学校の取組の一環として、町内の幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校の特色ある教育活動や子どもたちの頑張りや心温まるエピソード等を紹介するものです。

今年度もみなさま方に広く情報を発信して参りますので、ちょっと時間をさいてお読みいただければ幸いに存じます。

ご感想等がございましたら、下記Eメールにお寄せいただければ幸いです。

Eメール：sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp

(教育指導幹 清水 彦一)



子育て教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、背中に声かけ

行ってらっしゃい

地域は、笑顔で声掛け

こんにちは